

議会活性化を調査

平成20年10月16～17日

議会運営委員会



▲庄内町における調査の様子

山形県
庄内町

住民に開かれた議会の実践

人口
2万4千人

全国町村議会議長会より議会の取り組みが先進的であることから特別表彰を受賞している議会でもある。議員定数二十名。

今回は、特に議会活性化と住民にみえる議会の取り組みについて調査した。定例会を住民に知らせるため事前に議事日程や一般質問の内容を記載した「定例会のご案内」を自治会単位に回覧し、常任委員会単位に、諸団体との意見交換の場を設定している。

インターネットを活用し、家庭でも視聴できるよう光通信により議会中継を実施している。

常任委員会の活性化のため閉会中の調査を年間十回の開催を原則とし、調査は結果報告にとどまらず「政策提言」を基本としている。

傍聴者のために閲覧用の議案等の配置をしているなど、議会の取り組みが住民にわかるよう努力している姿勢は、当町議会でも見習う必要があるものと思われる。

宮城県
亶理町

議会活性化委員会を設置

人口
3万5千人

「議会活性化と住民に分かりやすく、開かれた議会を目指して」の取り組みをしている亶理町議会は、議員定数二十名であるが、議会活性化委員会を設置してさまざまな活性化策を実施している。

特に長期にわたり議会活動等ができない長期欠席議員の報酬等の減額、議



▲亶理町議場を視察

員と町民との懇談会の開催、まちづくりに関する議員の出前懇談会や年に一回、休日議会と併せて、議事日程予定や一般質問通告内容の事前公開（議会だよりお知らせ版の全戸配布）の実施などが行われており、今後当町議会においても参考とすべき事項であると感